

牧羊ひろば



西舞鶴教会 教会学校

●毎週の教会学校

私たち夫婦は、二〇一七年春、西舞鶴教会に任命されました。着任早々驚いたのは、1歳余りの幼児から小学5年生までの子どもたちが、毎週10名ほど来ていること。尋ねてみると、6つのクリスチャン・ホームがあり、子どもたちが親と一緒に来ているということで、「これはチャンス!」と思いました。さらに、この6つの家庭の親たちも、クリスチャン・ホーム育ちの方が多かったのです。このような背景の中で、現在の教会学校の形が生まれてきました。

最初の一年間は、それまでどおり、朝9時半から10時までの30分間の短い教会学校でした。10時15分からは、母親が子どもたちをそばにおいて、母子室で礼拝を捧げていました。しかし、親も子どもも、落ち着いて聖書の話を聞けません。そこで、教会学校の

教師会と役員会で何度も話し合い、二年目に大きな改革をしました。わかりやすくまとめると、次の4点です。

- ① 10時15分からの礼拝の最初の20分は、会堂で大人も子どもも一緒に礼拝を捧げる。賛詠・司会者の祈り・主の祈り・CS賛美の後に、子どもとCS教師は階下に移動し、教会学校礼拝と分級を行う。
 - ② CS教師を助けるために、「お助け隊」の一員に加わる信徒や親たちを募り、月に一度だけは、交代で、教会学校に出席して奉仕していただく。
 - ③ CS教師と「お助け隊」の兄弟のために、毎週朝9時半から10時まで、礼拝説教が語られる。
 - ④ 月に一度、最初の賛詠から最後の祝祷まで、会堂で大人と子どもの合同礼拝を捧げる。牧師は15分ほどの子ども向きの説教をする。全体で40分ほどの合同礼拝の後、子どもたちは階下で教会学校の分級をし、大人は会堂で、大人向きの説教を聞く。
- この改革によって、次のような結果が生まれました。
- ① 教会学校のために約1時間が確保されたので、落ち着いて分級ができる。
 - ② CS生徒の親たちも、落ち着いて礼拝説教が聞ける。

③お助け隊の姉妹をはじめとして、教会員の中に、子どもたちに対する愛がより深くなり、教会全体で子どもたちを育てていく意識が強くなる。



教会学校風景

今、一番大きな祈りの課題は、中学科です。不定期で牧師夫人が礼拝説教をする時をもち、牧師が中学科で教えています。でも、何とか毎週、中学科がもたれ、明確に主イエスを信じる決断に進んでほしいと祈っています。

す。親から受け継いだ信仰のバトンが、確実に次世代に受け継がれることが願いです。

感謝なことに、母親の中で二人の方が受洗されました。そして、月に一度「ママの会」を開き、家庭における宗教教育について学んでいます。また、小学校6年生の女兒が昨年のクリスマスに受洗しました。彼女に続く子どもたちが次々に生まれるように祈っています。

(牧師 鎌野善三)



ママの会賛美

●教会学校の特別な行事

私たちの教会では、近隣の子どもたちに教会へ来てもらうため、毎年6月には子ども大会、12月には子どもクリスマスを行っています。



子ども大会会場

1. 子ども大会

長年、地域の3〜4つの小学校で登校時にちらしを配布してきましたが、ここ数年は、外部からの来会者はな

しという状況が続いていました。そんな中、二〇一九年の子ども大会では、名古屋東教会の取り組みを参考に、地域に開かれた教会として、地域の人々や子どもたちに気軽に参加してもらおうと、これまでとは内容を大きく変えて実施しました。子ども向けには、バスボムづくり、聖書のビデオ上映と鎌野牧師のおはなし、綿菓子づくりの3つの体験を、スタンプラリー方式で行いました。また大人向けには、バザーとカフェコーナーを設けました。学校前でのチラシ配布だけでなく、初めてこのチラシの新聞折込もしました。



バスボム作り

学校の前でもらったチラシを手に、初めての子どもたちが次々教会にやって来ました。スタンプシートにスタンプを3つ押してもらえば、最後に綿菓子づくりができます。一度の子ども大会にこんな多くの来会者があったのは初めてのことです。子どもたちが誘ってきてくれたお友だちもいました。また、教会学校生徒の保護者が友人や知り合いの子どもたちをたくさん誘ってくださったこともあり、画期的な子ども大会となりました。



綿菓子

婦人会が準備くださったバザーでは、家庭からのリサイクル品をはじめとして、手作りのかわいいアクセサリや小物、布製品、新鮮なお野菜などが色とりどりに並べられました。教会員も楽しくお買い物ができ、売り上げは「国際飢餓対策機構」に寄付することができました。

2. 子どもクリスマス

クリスマスは12月25日に一番近い日曜日の午後に実施しています。学校前でちらしも配布してきました。しかし、あまり来てもらえません。そこで、ここ数年は、教会学校の生徒たちがお友達に招待状を渡して誘い、みんなで楽しむ行事にしています。クリスマスDVDの上映、お話し、劇などの出し物、工作、ゲームといったプログラムです。教会学校の子どもたちが高学年になってきたので、ようやく子どもたちが出演する劇などにとりくむことができるようになってきました。

3. その他のイベント

主なものは、以下の4つです。

★夏期学校は、以前はお泊りできていた時期もあったのですが、子どもたちが少なくなったので、夏休み中の日曜日の午後にすることが数年続きました。しかし、昨年度の夏は教会を飛び出し、「雲の上のゲストハウス」という郊外の宿泊施設で、父親たちが作った竹の樋で流しそうめんを味わいました。その他、すいかわり、水遊び、お泊りという、自然いっぱいの中での楽しい時を過ごしました。



夏期学校 その1

★もちつき大会は3月に実施で、教会にある石臼を使ってもちつきをします。大人に手伝ってもらいながら、子どもたちが杵で餅つきを体験し、餅にあんこを入れて丸めたり、つきたてのおもちで作ったおろしもち・きなこもち、それに、たこ焼きなども作って、おなかいっぱいいただきます。

★子ども祝福礼拝は11月に実施。大人との合同礼拝の中で、子どもたち一人ひとりのために牧師が頭に手を置



もちつき大会

いて祝福の祈りをします。今年は21名の子どもたちが祝福にあずかりました。子どもたちのためのおいしいご馳走を婦人会の皆さんが準備くださり、子どもたちにはお祝いのデザートが一品添えられます。食事の後には、子ども一人一人に、大人たちが順番にお祝いの言葉を伝えていきます。教会学校教師以外の大人たちも、子どもたちのために祈り、見守ってくださいていることを実感する時です。

★みことば暗唱大会は、10月と3月に、それぞれが教会学校で覚えた金言を一人ずつ暗唱します。学年の数だけ覚える必要があるので、上級生の子どもたちは結構大変です。がんばって発表した後にはおいしいごほうびが待っています。

毎週の教会学校と、年に数回のイベントがうまくかみあって、子どもたちが教会学校に出席するのが楽しいものとなるよう、祈りつつ奉仕しています。教会全体で、子どもたちを育てていくことができれば本当に嬉しのです。

（教会学校教師 山口栄子）



夏期学校 その2